

4. 教育課程の編成・実施方針（カリキュラムポリシー）

別府溝部学園短期大学では、その教育目標に基づき普遍的に求められる教養と専門性を備えた有為の人材を育成するために、ライフデザイン総合学科、食物栄養学科、幼児教育学科、介護福祉学科を置き 以下の方針に基づいてカリキュラム（教育課程）を編成します。

- 1 基礎教育科目をとおして、はば広い教養と豊かな人間性を育成するとともに、心身ともに健康で国際化社会に対応できる人材を育成します。
- 2 各学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能の修得を目指し、もって地域社会の発展に貢献できる人材を育成します。
- 3 様々な教育プログラムをとおして、各学科の目指す資格の取得を図るとともに、多様な資格の取得に取り組む意欲のある人材を育成します。
- 4 インターンシップ、キャリア教育、各種の実習をとおして、実践的教育を図るとともに、就職支援を行い持続的就業力を持つ人材を育成します。

○ライフデザイン総合学科

〈ファッションブライダルコース〉

- ・ファッション業界やブライダル業界で必要とされる基礎的な知識、技能など、総合的な能力の向上をめざします。
- ・業界で活躍できる実践力を身につけます。
- ・就業に関する基礎的な技術・知識と資格の取得をめざし、多様な職種にも対応できる能力の獲得をめざします。

〈グラフィックデザインコース〉

- ・デザインについて必要となる造形力を理解するとともに実践力を身につけます。
- ・デザイン分野のコンピュータによる造形技術を修得します。
- ・デザインで地域に貢献する活動を通じた社会との関りを体験します。
- ・上記3項目の集大成とした卒業制作を行います。

〈医療事務コース〉

- ・ビジネスや医療事務の現場で求められる資質に関する科目や、資格・検定に関する教育プログラムを編成し、汎用的・専門的な知識と技能の修得をめざします。
- ・社会人や職業人としての価値観や倫理観を学ぶ教育課程・教育プログラムを編成し、コミュニケーション能力の修得をめざします。
- ・学外実習などの職業意識を磨く体験型の授業を編成し、実社会における課題探求力と問題解決力の修得をめざします。

〈ビジネス・観光コース（留学生）〉

- ・グローバル人材として必要なコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、知識、理論の修得をめざします。
- ・日本語を母語としない学生が日本でビジネスに必要な「読む・書く・聞く・話す」の4技能を身につけ、資格修得をめざします。
- ・ビジネス実務の資格に関する科目を編成し、日本の社会やビジネスの現場で求められる情報処理の技能を修得します。
- ・温泉地別府という土地柄を活かし、観光に関する科目を編成し、おもてなし・サービスの知識と技能の修得をめざします。

〈日本語コース（留学生）〉

- ・多様な文化が共生する学習環境のなかで、異文化を理解し、国際社会に対応するための知識を修得します。
- ・日本語を母語としない学生が日本で生活に必要な「読む・書く・聞く・話す」の4技能を包括的に学びます。
- ・積極的に社会に参画するためのコミュニケーション能力を高めます。
- ・社会で求められる情報処理の技能や資格取得をめざします。

○食物栄養学科

食をとおした「健康」の維持増進を図るための学びを実践します。

具体的には、栄養士養成に係る授業をとおして、生涯にわたる生活習慣病の予防のための栄養教育を行います。

併せて、情報処理能力を高め、適切な情報発信やプレゼンテーションスキルを学びます。

〈保育健康コース〉

- ・子ども等の健康や生活活動、発達段階等の実態に即した献立作成ができる人材をめざします。
- ・教育及び保育の内容の一環として食育を位置づけ、給食を活用した食育を実施することができる人材をめざします。
- ・食物アレルギーやその他の疾患、障がい等のある子ども等に対する個々の状況に応じた対策を学びます。

〈医事健康コース〉

- ・医療現場で役立つ医療的資格の取得をめざします。
- ・医療事務・介護事務の現場で必要とされるスキルを学びます。
- ・情報処理能力を高め、コミュニケーションスキルを身につけます。

〈温泉コンシェルジュコース〉

- ・温泉をベースとして、顧客の要望に柔軟に対応ができることを目標に、温泉の基礎知識・活用方法、地域の歴史文化等について学びます。
- ・自身の経験を以て顧客への適切なプログラムの提案ができることを目標に、地域における観光サービスを、現場で学びます。
- ・総合的な「おもてなし」の提供ができることを目標に、コミュニケーション力を身に付けます。

〈留学生コース〉

- ・多様な文化が共生する学習環境のなかで、異文化を理解し、国際社会に対応するための知識を習得します。
- ・日本語を母語としない学生が日本での生活に必要な「読む・書く・聞く・話す」の4技能を包括的に学びます。
- ・積極的に社会に参画するためのコミュニケーション能力を高めます。
- ・食と観光に関する科目を編成し、日本の食とおもてなしに関する理解を深めます。

○幼児教育学科

- ・幼稚園や保育所等の現場で成長できる保育者をめざし、核となる専門的

知識や技術を修得するため、講義とともに実技を含めた演習と実習を重視します。

- ・保育者としての使命感を培い、自己を成長させる力や対人関係力、指導実践力を学びます。

- ① 教育と保育の核となる専門的知識や技術を体系的に学びます。
- ② 保育者さらに社会人として、必要な態度や行動を養います。
- ③ こどもや保護者、職員間で必要なコミュニケーション能力を身につけます。
- ④ 演習や実習をとおして現場における指導実践力を養います。
- ⑤ 幼稚園教諭二種免許、保育士資格の同時取得をめざします。

○介護福祉学科

- ・社会に貢献できる生活支援の専門職である、介護福祉士としての教育を編成します。
- ・専門性の高い介護福祉士を養成するために、確かな技術及び知識だけでなく、エビデンスを踏まえた現場実践に結びつくカリキュラムの編成をします。
- ・情報教育やコミュニケーションの手段として、入学当初より全員で大正琴演奏に取り組み、福祉にとって最も大切な連携を学ぶための実践活動を行います。また、ボランティア講座を設け、人としての豊かな感性の育成にも励みます。学生の個性を大切にしながら、様々な教育活動を通して学び、卒業時には、全員が介護福祉士としての資格獲得をめざします。更に福祉分野での活躍・貢献に必要な”人間力”向上に向けたアプローチを行います。
- ・人間と社会の分野では、個人の生活を理解するため、社会の仕組みや関わりについて、介護福祉と尊厳の重要性とその方法について学びます。
- ・介護の分野では、介護の考え方を理解すると共に、身体介護・障がい者支援・衣食住に関する生活支援等、様々な生活支援技術について学びます。
- ・こころとからだのしくみの分野では、医学的・看護的な知識や技術を習得すると同時に、認知症や障がいについての理解を深めます。
- ・医療的ケアの分野では、医療職との連携のもとで、医療的ケアを安全・適切に実施するために必要な知識・技術について学びます。
- ・実習（施設・在宅）の分野では、2年間にわたり、多くの実習施設において

介護実習指導者の方々の指導のもと、ケアの本質や介護福祉士としての果たすべき役割等についての理解を深め、専門職としての能力を高めます。